

中部方面混成団創立5周年 大津駐屯地創設53周年記念行事

かけはし



編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

中部方面混成団及び大津駐屯地（団長兼駐屯地司令 古河克樹一佐）は、滋賀県知事、大津市長、多数の国会議員をはじめ、各自治体・協力団体、近傍駐屯地から部内外多数の来賓の出席を得て、団創立五周年・駐屯地創設五十三周年記念行事を盛大に挙行了。

昨年は、東日本大震災の影響で縮小されたが、今年の記念行事は例年同様大勢の来場者で賑わった。

観閲式は、第四十七普通科連隊長有浦隆一佐を観閲部隊指揮官として、団隷下部隊（第四十七普通科連隊、第四陸曹教育隊、第一〇九教育大隊及び第一〇教育大隊）と中部方面音楽隊（伊丹）が参列した。

観閲行進では、中部方面音楽隊が演奏する中、第一〇九教育大隊の新入隊員（一般陸曹候補生・自衛官候補生）、第四陸曹教育隊に入校中の陸曹候補生・上級陸曹学生、第四十七普通科連隊及び第三特科隊、第三戦車大隊、第三高射特科大隊、第三施設大隊、第三偵察隊、第八高射特科群の隊員及び車両が多数の来場者の前を威風堂々と行進し、最後に第三飛行隊の航空機が飛行して大きな拍手を浴びた。

式典後は、新入隊員による自衛隊体操、姫路駐屯地白鷺太鼓の演奏、第四十七普通科連隊と支援部隊による迫力ある模擬戦が行われ、見学者を圧倒・魅了した。

その後は、第四施設団による琵琶湖での体験乗船、各装備品の展示、高機動車の体験試乗、祝賀会食が催され、来隊した方々に、中部方面混成団及び大津駐屯地に対する一層の理解を得ることができた。



観閲部隊の敬礼を受ける古河混成団長

栄えある 団長・司令感謝状贈呈

中部方面混成団長兼大津駐屯地司令は、平素から我が国の防衛と自衛隊の任務に深いご理解を寄せられ、永年にわたりご功績のあった七名の方々と二団体に対し、創立記念行事に合わせ、感謝状を贈呈した。

団長感謝状受賞者

中部方面混成団友の会
事務局長



内藤 文雄 様

第四陸曹教育隊
英語教師



フィリップ・ガーデン 様

第一〇九教育大隊
友の会副会長



影山 和治 様

第一〇九教育大隊
教友会会員



後藤 英機 様

第一〇九教育大隊
教友会会員



谷本 収 様

団長感謝状受賞（団体）

（株）御池鐵工所 様

第四陸曹教育隊友の会 様

司令感謝状受賞者



大津自衛隊協力会
理事



川口 義明 様

日本カウンセラー協会
関西支部京都事務所 所長



田中 晶子 様

記念行事Photo



感謝状贈呈式



中部方面音楽隊のパレード演奏



4曹教共通中隊の陸曹候補生



109教大の女性新入隊員



4曹教普通科中隊の陸曹候補生



観閲部隊指揮官有浦1佐



第3戦車大隊の74式戦車



第3戦車大隊の96式装輪装甲車



第3特科隊白鷺太鼓の演奏



新入隊員の自衛隊体操



攻撃前進する普通科隊員



47普連のオートバイ偵察



大迫力の空包射撃



第3特科隊のFH70



第4施設団の体験乗船



装備品の説明に聞き入る来場者



第1空挺団の装備品展示



写真展に見入る来場者

新部隊長紹介

第一〇教育大隊長 玉本章二二佐



平成二十四年三月二十三日付で、第一〇教育大隊長に玉本章二佐が、第三代中部方面混成団最任上級曹長に池田准尉がそれぞれ着任した。

プロフィール

●生年月日 昭和三十四年八月四日
●出身地 香川県
●主要勤務歴
第三特科連隊第五大隊第九中隊長(今津)
富士学校特科部訓練砲術班教官(富士)
第七特科連隊火力調整幹部(東千歳)
東部方面総監部人事見積幹部(朝霞)
第十三特科連隊第三科長(日本原)
第十特科連隊第五大隊長(豊川)
西部方面特科連隊第三科長(湯布院)
中部方面総監部予備自衛官班長(伊丹)

●座右の銘 趣味 旅行
●陰徳陽報 先憂後樂
●部隊長要望事項 積極真摯

中部方面混成団 最任上級曹長 池田浩昭准尉



プロフィール

●生年月日 昭和三十八年一月二十八日
●出身地 岡山県
●主要勤務歴
第三十七普通科連隊第三中隊(信太山)
第一一七教育大隊第三三二共通教育中隊(武山)
第一〇九教育大隊第三二六共通教育中隊(武山)
第二教育団本部総務科副官(大津)
中部方面混成団本部総務科広報准尉、総務准尉(大津)
●趣味 バイクツーリング、ゴルフ、スキー等

●抱負
平成二十四年三月二十三日付で、第三代中部方面混成団最任上級曹長を拝命しました。最任上級曹長として勤務するにあたり、団長の要望事項である「明るく前向きに」「基本・基礎」を念頭に現場進出し、団長の企図を徹底していくとともに、会話を大切にしながら現場の問題点・要望事項等をしつかりと把握・報告していくことが責務と心得ております。
混成団に所属する准曹士の活性化に寄与したいと思っております。今後のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

品川二佐 離任

品川二佐は、第一〇教育大隊長としての一年八ヶ月間の勤務を終え、平成二十四年三月二十三日付で出雲駐屯地業務隊長として栄転された。



福嶋三尉 退官

福嶋准尉は、平成二十四年三月二十三日付で二代中部方面混成団最任上級曹長としての二年八ヶ月の勤務を終えられた。
なお平成二十四年六月六日付をもって三等陸尉に特別昇任、三十五年余の自衛隊勤務を全うされ定年退官された。



第三師団長感謝状受賞



中部方面混成団友の会
常任理事
芝山 真 様

五月二十日、千僧駐屯地で開催された第三師団創立五十一周年記念行事において、中部方面混成団友の会常任理事 芝山真一様が、永年にわたる自衛隊への功績により、師団長から感謝状を贈呈された。
芝山様は、団友の会常任理事であり、平成十七年五月から、団友の会に入会、二十四年五月までの七年間にわたり、団友の会活動に積極的に尽力された。

団友の会 激励慰問行事



鈴木教育隊長の説明を受ける
団友の会



陸曹候補生の武装走を見学

中部方面混成団友の会(会長 田中清司氏)は、毎年行っている団隷下部隊への激励慰問行事として、二月二十七日、会長以下十一名で第四陸曹教育隊を訪問した。
鈴木教育隊長の素晴らしい統率の下、基幹隊員及び各教育学生の精進澁刺とした教育・訓練を見学するとともに、部隊概要の説明を受け理解するとともに、四曹教の士気高揚のための激励を行った。

第四十七普通科連隊

◆即応予備自衛官

訓練開始式を挙る



連隊歌を斉唱する即応予備自衛官

第四十七普通科連隊(連隊長 有浦隆一佐)は、平成二十四年四月十四日から十六日の間に各出頭駐屯地において平成二十四年度即応予備自衛官訓練開始式を行った。

今年度は新たに三十八名の即応予備自衛官を迎え、総員五八七名での訓練を開始した。

連隊長代理として立会官を勤めた副連隊長服部二佐は、「我々は、いざという時には即応予備自衛官の諸官達と共に戦う練成部隊であり、第四十七普通科連隊の一員としてそれぞれの職務で行動することを再認識し、自衛官であることへの誇りと自覚を持って訓練に励んでもらいたい。」との連隊長式辞を代読した。



◆平成二十四年度生活体験支援

連隊は、五月十六日から十七日までの間、企業四社五十七名(㈱IHIマリンユナイテッド呉工場、上組福山支店、福永硝子建材株式会社、㈱シギヤ精機製作所)に対し、海田市駐屯地が行なう平成二十四年度生活体験を支援した。

服務教育、基本教練、自衛隊体操、行進訓練、非常召集訓練等の各種訓練を通じて、陸上自衛隊と民間企業の相互理解に寄与することができた。

また、今回の生活体験参加者からは、「食事が意外においしかった。時間の大切さがよくわかったので、今後に生かしたい。」等の所見を得るとともに、支援隊員の指揮・指導能力の向上を図ることができた。



模擬銃を使ってのほふく訓練



模擬銃を携行しての行進訓練

第四陸曹教育隊

◆あいば野演習場で射撃訓練見学

今津駐屯地で戦車試乗



第3戦車大隊の74式戦車

第四陸曹教育隊(隊長 鈴木精治一佐)は、平成二十四年六月二日、家族支援・部外広報の一環として、基幹隊員家族三十九名及び部外協力団体の第四陸曹教育隊友の会員十一名を始めとする部外協力者等二十九名の計六十八名を招いて、射撃訓練見学及び戦車試乗などを行った。

当初、あいば野演習場小火器戦術射撃場において普通科教育中隊初級陸曹特技課程学生による分隊戦術射撃の状況を見学、その後今津駐屯地に場所を移し、隊員食堂での体験喫食、戦車試乗及び資料館を見学した。第三戦車大隊の支援を受けた戦車試乗では、エンジン始動で唸り上げる轟音に参加者は皆、驚いた様子であったが、いざ試乗すると歓声を上げる子供



今津駐屯地での戦車試乗



子供に大人気の74式戦車

たちや予想以上の速度に必死に戦車にしがみつく大人の姿など、その姿は様々であった。

隊は、これからも自衛隊の活動について部外協力者等に対する理解を得ていくとともに、積極的に家族支援を実施し、隊員が安心して任務にまい進できる態勢を確立していく。



第一〇九教育大隊

◆「中部方面混成団友の会」

新入隊員とともに



最後の突撃をする一般陸曹候補生

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫 二佐）は、平成二十四年六月十八日に中部方面混成団友の会（会長 田中清司氏）十七名による新入隊員への激励を頂いた。

第三一六共通教育中隊（一般陸曹候補生）の戦闘訓練判定では、分隊長の指揮のもと、分隊一丸となった攻撃、特に鬼神に迫る最後の突撃を感動の目で応援していただいた。

また、第三一四共通教育中隊（自衛官候補生）の体力検定では、最後の種目となる三〇〇m走に大きな声援をいただき各候補生も、その激励に答えるべく最後まで力走した。

各候補生達は、六月二十八日に教育を終え、三十日に希望と不安を胸に、それぞれの後期部隊へと旅立って行った。彼らの自衛官、そして人としての更なる成長を祈念したい。



戦闘訓練を熱心に見学する友の会会員



大きな声援を受けて力走する自衛官候補生

第一一〇教育大隊

◆第五期

一般陸曹候補生課程前期教育



戦闘訓練で空包を撃つ新入隊員

第一一〇教育大隊（大隊長 玉木章二 二佐）は、三月二十八日より六月三十日の間、善通寺駐屯地において、第五期一般陸曹候補生課程前期（二九四名）の教育を担当した。

新入隊員達は教育間、大隊長が入隊式で述べた要望事項「初志貫徹」「切磋琢磨」「明るく、仲良く」を忠実に実施し、部隊において真に役立つ隊員となるべく、各種教育訓練に汗を流し、基本となる基礎知識と技術を修得した。

新入隊員は、六月三十日に善通寺駐屯地を離れてそれぞれの部隊配置となり、後期教育部隊での健闘が期待される。

◆善通寺駐屯地 創立記念日行事に参加

第一一〇教育大隊は、平成二十四年四月二十九日、善通寺駐屯地で開催された第十四旅団創設六周年・善通寺駐屯地開設六十二年記念行事に、大隊長以下三三二名（第五期一般陸曹候補生を含む。）が参加し、観閲式及び観閲行進において、澁刺とした真姿を来隊者に披露した。



善通寺創立記念行事に参加する第110教育大隊



隊員・家族投稿

「自衛官の妻として」

第四十七普通科連隊 第三科長

長川三佐夫人 長川 庸子

自衛官と結婚したものの、「自衛隊」の中はどうなっているのか？主人はどんな仕事をしているのか？正直、具体的にはよくわからないまま一年半が過ぎておりました。(その間に妊娠、震災、出産、子育て真っ最中)

そしてこの四月に海田市へ転勤。以前いた場所ではタイミングが合わず、オリエンテーションには一切参加できませんでしたが、こちらでは至れり尽くせりの会が催され、毎回楽しく参加させて頂いております。

転勤早々に山口(積水ハウス見学/瑠璃光寺/温泉)まで日帰りバスツアーがあり、たくさんの方と出会い、交流できたことは今後の官舎生活を送る上で大変有難く感じております。また家族説明会では、丁寧なご説明と暖かなご対応に緊張がほぐれたのを覚えております。そして

「日々の奮闘」

第二〇教育大隊第三三共通教育中隊

二等陸曹 山口 真司



和真(かずま)君と華叶(かほ)ちゃん

て駐屯地内を歩いた際になんともワクワクした気持ちになったのは、心地よい春風のせいだけではなくアーミーコンサート本番前の多種多様な楽器の音色を体感したからでしょうか♪日米合同、そして高校生も参加されているコンサートは怪異区間内だけでなく、海田中に響き渡るような勢いのある音楽で、自然と体がリズムをとり、口ずさみ、気分爽快で帰路につきましました。(0歳の娘にはアーミーラライになったようですが)

今後も家族ぐるみの出会いと交流を通じて「転勤族ライフ」を謳歌できたいいなと思っております。



長川三佐家族

私は今、教育隊に所属しています。

日々の業務に追われながら、二人の子を持つ父親として頑張っています。

新隊員がほふく前進に汗を流す一方、長男もほふく前進で暴れまわり、長女がいたずらをして叱られているのを眺める一方、新隊員が厳しく指導されている場面に出くわしております。

厳しくも温かく教育されて成長していく新隊員を見て、教育の重要性を改めて感じ、我が子の教育にも自然と力が入ります。

我が子と新隊員が立派な大人に成長できるように、今後も家庭でも職場でも日々奮闘しながら頑張ろうと思えます。

「自衛官の妻になって」

第二〇九教育大隊本部

川岡二曹夫人 川岡 瑠理子

自衛官の主人と結婚し、すぐに長女、次女を授かり、三才・二才で大津に転属して来ました。

早いものでこの四月から中学一年生、小学五年生となり、毎日元気に登校してくれています。そして、結婚十三年目に入ったこの四月に三人目にして始めての立ち会い出産になる主人に、上二人の子供たち、家族みんなに見守られる中、三人目の女の子を無事出産することができました。久しぶりの赤ちゃん誕生に毎日楽しく育児に奮闘中です。

出産するにあたり、主人の職場の皆様方のお心遣いに、また、同じ官舎で共に生活する奥様たちの優しさに心から感謝

部外協力者投稿

中部方面混成団友の会会員及び第四陸曹教育隊友の会会員

平田 晃子



平田 晃子 さん

の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。



3女の愛(まな)ちゃん

「分隊戦闘射撃訓練の見学がありますが、いかがですか？」

「第四陸曹教育隊友の会」という第四陸曹教育隊をご支援する部外協力団体の会員の私に、このようなお誘いがありました。

当日は心配していた天気にも恵まれ、早る気持ちを抑えながら、あいば野演習場に向いました。分隊戦闘射撃という実弾射撃の場を見学するのは初めてということもあり、緊張しながら見学場所に行くくと、隊員の皆様が横一列に並び、小銃や機関銃の弾が命中すると倒れる的を射撃し、各人の目標的をバタバタと倒していきましました。

先の東日本大震災で自衛隊がクローズアップされた災害派遣も自衛隊の重要な任務のひとつですが、今回の訓練見学は、国土防衛という普段私たちがあまり見ることのない自衛隊の重要な任務に向けた射撃訓練を見学することができた、とても貴重な一日でした。